

令和5年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第7回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日 時	令和6年1月17日（水） 15時10分～16時30分	
場 所	常葉大学静岡草薙キャンパス A201 教室 静岡瀬名キャンパス 大会議室 静岡水落キャンパス 205 教室 浜松キャンパス 601 教室	
研修内容	これからの学生支援について	
講 師	中部大学 学生相談室、人間力創成教育院初年次教育プログラム 佐藤 枝里 教授（オンライン講演）	
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス	188 人
	静岡瀬名キャンパス	21 人
	静岡水落キャンパス	72 人
	浜松キャンパス	127 人
	合 計	408 人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員も含む。

令和5年度第7回FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。

本年度第7回は「これからの学生支援」をテーマに、中部大学学生相談室室長の佐藤枝里教授による講演を実施した。具体的には、「中部大学の学生支援」「支援の事例」「多様性」「今後の展望」等の多岐に渡る講演内容であった。

インクルーシブ教育など、高等教育機関に求められる役割も大きくなる中で、特に令和6年4月1日からの改正障害者差別解消法の施行に伴い、私立大学等においても「合理的配慮」の提供が義務化される。それらに対応していくために、大学として組織的に対応する必要性（大学としての姿勢・教職員の心構えや知識の修得等）とその難しさについてお話された。

支援の事例としては、入学期・中間期・卒業期の3区分にて、よくある事例及びその対応が紹介され、学年の移行に伴う学生生活における心理的課題の変化を軸に学生の視点を理解することが重要であるとのことであった。

上記のように、近年大学を取り巻く環境の変化が著しく、多様なニーズに対応する大学教育を実現するための総合的な学生支援が求められている。学生相談の内容が、対人関係・学修上の問題・経済的問題等、多様化しており、学生が抱える課題には様々な背景があるため、関係機関による有機的な連携・協力が非常に重要である。今回の研修内容をもとに、今後の学生支援のあり方を全教職員で考えていくための糧とするとともに、学生及び教職員がより安心・安全に過ごせる教育環境を整えていきたい。